

山江村議会だより

# まるおか

No.58

(区の宝：第6区)



味園天満天神堂(学問の神様)



時代の駅むらやくば  
旧山江村役場庁舎(国登録有形文化財)



山江村農林産物集出荷貯蔵施設  
旧山江農協倉庫2号(国登録有形文化財)



山江村道路元標「里程元標」(村有形文化財)



※昔から流鏝馬の的の位置跡ではないかと  
言い伝えがある射手馬場の碑

## 目次

- 平成27年第3回議会臨時会報告
- 平成27年第4回議会定例会報告
- 一般質問
- 万江川流域現地調査
- だんだんなあ

平成27年7月31日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)22-0105 山江村域内電話 ☎23-3401

# 議長に秋丸安弘氏、副議長に中竹耕一郎氏を選出 新たな議会構成でスタート！

任期満了に伴う山江村議会議員一般選挙後初めての議会は、平成27年5月8日に第3回議会臨時会が開催され、議長に秋丸安弘氏、副議長に中竹耕一郎氏を選出しました。また、各常任委員会、議会運営委員会、一部事務組合の議会議員などを決定し、新しい議会構成でスタートしました。

また、専決処分の承認を求めること9件、議会選出の山江村監査委員の選任同意などをいずれも原案どおり可決決定しました。



山江村議会議長  
秋丸 安弘

## 【議長の就任挨拶】

この度、第3回臨時会におきまして第19代議長に就任いたしました。

身に余る光栄であり、責務の重大さに身の引き締まる思いです。議会は、地方公共団体の意志の決定を行い、村政の方向づけを行う議事機関であります。議会の代表者として公正、公平、中立を旨とし、村民の幸せづくりに努力してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



山江村議会副議長  
中竹 耕一郎

## 【副議長の就任挨拶】

副議長に不肖私を推薦いただき就任いたしました。光栄に存じ、身の引き締まる思いであります。地方創生が叫ばれる今日、微力ではありますが、円滑な議会運営並びに議会の使命達成に向けて努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



(後列左から) 立道 徹、秋丸光明、谷口予志之、森田俊介、赤坂 修  
(前列左から) 西 孝恒、中竹耕一郎、秋丸安弘、横谷 巡、松本佳久

# 山江村議会構成

## 1、正副議長

議 長	副 議 長
秋 丸 安 弘	中 竹 耕 一 郎

## 2、委員会構成

委員会の名称	委 員 氏 名			
総務常任委員会	委 員 長	西 孝 恒	委 員	中 竹 耕 一 郎
	副 委 員 長	赤 坂 修		秋 丸 安 弘
	委 員	松 本 佳 久		

委員会の名称	委 員 氏 名			
経 済 ・ 建 設 常 任 委 員 会	委 員 長	横 谷 巡	委 員	谷 口 予 志 之
	副 委 員 長	秋 丸 光 明		森 田 俊 介
	委 員	立 道 徹		

委員会の名称	委 員 氏 名			
議 会 運 営 委 員 会	委 員 長	松 本 佳 久	委 員	西 孝 恒
	副 委 員 長	谷 口 予 志 之		横 谷 巡

委員会の名称	委 員 氏 名			
議 会 広 報 編 集 特 別 委 員 会	委 員 長	立 道 徹	委 員	西 孝 恒
	副 委 員 長	森 田 俊 介		赤 坂 修

## 3、一部事務組合議会議員及び協議会委員

人 吉 球 磨 広 域 行 政 組 合	谷 口 予 志 之	森 田 俊 介
人 吉 下 球 磨 消 防 組 合	松 本 佳 久	
川 辺 川 土 地 改 良 事 業 連 絡 協 議 会	赤 坂 修	

## 4、議会選出監査委員

監 査 委 員	赤 坂 修
---------	-------

# こんなことが決まりました

《議案と議決結果》（平成27年 第4回6月議会定例会）

議 案	議決の結果
報告第1号 平成26年度繰越明許費（一般会計）の報告について	原 案 可 決
議案第34号 山江村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議案第35号 山江温泉「はたる」の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議案第36号 平成27年度山江村一般会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
発委第1号 山江村議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原 案 可 決

# 平成27年度山江村一般会計補正予算 15,058千円を追加可決！！

平成27年第4回6月議会定例会は、10日から12日までの3日間の会期で開催されました。今回提案されたものは、報告1件、条例2件、平成27年度山江村一般会計補正予算、発委1件、合計5件を審議しました。

10日に開会し、11日は一般質問で7議員が登壇しました。

最終日の12日に、質疑・討論・表決を行ない、全議案を原案どおり可決、決定し閉会しました。

## 平成27年度一般会計補正予算の内訳

### ■ 歳 入

【単位：千円】

款	補正前額	補正額	合計	説明
分担金及び負担金	27,514	316	27,830	保育料過年度分
国庫支出金	300,196	10,957	311,153	農村集落活性化支援事業補助金他
県支出金	186,565	2,185	188,750	球磨川水系防災・減災ソフト対策等補助金
諸収入	23,799	1,600	25,399	農業施設整備分担金
歳入合計	2,852,000	15,058	2,867,058	

### ■ 歳 出

【単位：千円】

款	補正前額	補正額	合計	主な内容
議会費	65,671	615	66,286	手当等の増
総務費	516,629	1,189	517,818	住宅リフォーム事業費補助金他増
民生費	664,053	△4,299	659,754	手当等の減
衛生費	389,215	△24	389,191	手当等の減
農林水産業費	278,306	8,044	286,350	農村集落活性化支援事業費他増
商工費	26,434	1,346	27,780	観光費委託料他増
土木費	221,139	△497	220,642	手当等の減
消防費	101,957	2,780	104,737	消耗品費他増
教育費	208,279	3,850	212,129	I C T環境整備費旅費他増
予備費	20,971	2,054	23,025	予備費
歳出合計	2,852,000	15,058	2,867,058	



・有害鳥獣捕獲に伴う今後の取組み、  
計画について  
・婚活問題について  
・山江村農産物出荷組合について

森田 俊介 議員

**質問** 有害駆除被害の平成26年度から平成27年度の鳥獣の捕獲数は？

**答弁** 平成26年度の捕獲数は、シカが1102頭、サルが43頭、イノシシが393頭で、合計1538頭。平成27年度は把握できていない。

**質問** 有害鳥獣対策に対する補助金の総額は？

**答弁** 平成26年度の1538頭に対して補助金の実績は1631万4千円です。

**質問** 有害鳥獣による26年度の被害額は？

**答弁** 被害届による有害鳥獣の26年度の被害額は、シカで32万8千円ほど。イノシシで27万6千円ほどです。

**質問** 防除ネット、電気柵の今年度までの申請数と年内の予算額は？

**答弁** 平成21年度から107.9haを整備し、平成27年度は3カ所。国の事業費170万5千円。村単独では果樹振興費に270万

円、林業振興費に116万1千円を計上している。

**質問** シカ、シシなどの解体加工場の新設の計画はないか？また、ジビエ料理を山江温泉センター「ほたる」、農村レストラン「やま

えのまんま」でも活用して、メニューに利用や、物産館で販売するなどの考えはないか？

**答弁** 現時点では加工施設の建設計画は予定していない。地域の活性化につながるかは考えている。

**質問** 婚活問題については？

**答弁** 社会福祉協議会では平成25年と26年、3回実施をされている。

**質問** 九州自動車道上がり線のサービスエリアの農産物の出荷は？また、野外テントでの販売状況は？

**答弁** 山江村物産館からレストランへ米を5.7t、栗まんじゅうやびっくり団子を、平成26年度合わせて42万7千個程度の販売を行っている。なお、ネクスコ西日本と管理会社と契約を結んで村内の個

人とかグループの方々が米や野菜、加工品を販売されている。

**質問** 平成22年12月と平成23年3月に前議員がテント営業について質問されているようだが、回答結果はどうだったのか？

**答弁** 役場の助成金を活用されてグループでテントを購入されている。曜日を決めて販売をされていると回答されています。

**質問** 山江村助成金でグループテントを購入し、個人的に営業をしているというならば、公益規則に反しているのでは？

**答弁** 個人で独占的に使っているのであれば、現状をよく調査するべきだと思っています。

**質問** 山江サーブエリア全体の経営着手など、山江を中心として国が進める地方創生、人吉球磨定住自立ビジョンに対する村長の考えは？

**答弁** 自治体が経営するには第3セクターなりの企業化を図った上で、経営形態と法的にクリアをしなければならぬ問題がある。また、諸々調査をする必要がある、今後検討してみたい。



・土砂災害防止法に伴う立入調査の進捗状況について  
・村内の情報伝達用各設備状況について

西 孝恒 議員

**質問** 土砂災害防止法に伴う立入り調査による本村の土砂災害危険箇所など、途中経過状況について

**答弁** 熊本県が村内で把握している危険箇所は、土石流危険渓流61カ所の中で土砂災害警戒区域等の指定は35カ所である。また危険渓流26カ所、急傾斜地崩壊区域73カ所を今回の立入り調査により、9

月頃までかかる見込みである。

**質問** 調査結果による、危険区域箇所の安全対策について

**答弁** 県が調査をして、土砂災害の警戒区域をその危険度により、イエローゾーン、レッドゾーンとして指定する。レッドゾーンはその区域に居住する建物、住家に対し区域外へ移転を促す土砂災害危

険住宅移転促進事業を県は始める。上限300万円の補助がある。

**質問** ケーブルテレビは開局時から加入率は80%位であるが、加入率の課題について

**答弁** 現在ケーブルテレビは、79.02%で加入率を上げる対策は行っているが、世帯の高齢化や減少がある。楽しい番組づくりや、加入促進期間として加入費用の免除や75才以上の高齢者のみの世帯は、月額1000円の減免措置も実施している。今後も加入率向上に努める。

**質問** IP方式の無料固定電話の状況について

**答弁** 雷等により、不具合が生じているが、予備を備えているので、故障したときは連絡により、取り替える対応をしている。

**質問** 通常の固定電話がない家庭へのIP電話利用は番号が分からないが？

**答弁** 電話番号の公表については個人情報であり難しい、慎重に扱っていく。

**質問** 山江村防災行政無線戸別受信機の稼働状況は？

**答弁** 戸別受信機導入から20年経過し、不具合も年々増えている。

毎年度修繕費備品購入費として80万円計上している。

**質問** 防災行政無線のデジタル化の計画について

**答弁** 27年経過し機器も古くなっている。電波法の改正により遅くともH34年11月迄には完了の必要があるが相当の費用がかかる。有利な制度を活用し整備したい。

**質問** 在宅老人緊急通報装置の利用状況は？



・山江村温泉センター「ほたる」の経営状況について  
 ・村内における業務請負委託の内容について  
 ・認知症対策について

立道 徹 議員

**質問** 「ほたる」の経営状況について、26年度の決算は？

**答弁** 26年度の決算は、552,650円の赤字である。

**質問** 2160万円を村から助成しても赤字ながら給料を上げられたとの事ですが、その理由と上げた金額、それに対する社長の考えは？

**答弁** 従業員のやる気、意識の改革が必要であるために、社員2名の退職分との試算をした結果、上

**答弁** 概ね65才以上で現在対象者は22名である。緊急の場合委託業者に連絡がいく、健康の相談にも応じるようになっていく。

**質問** 避難行動要支援者の支援対策について

**答弁** この対象者としては、其々条件があるが500名程である。避難行動要支援者の登録制度を導入し、同意を事前に得て支援者に情報提供を行っていききたい。

山江村温泉センター「ほたる」の経営状況について

村内における業務請負委託の内容について

上げて増えないということと支配人との信頼関係の中でその給与を上げました。

**質問** 平成27年度の4、5月の実績、毎月の労務費、諸経費、そして、黒字になるための売上は？

**答弁** 4月で△53万円程、5月で100万円増程、毎月の労務費約410万円、諸経費が約1000万円程で、月に1500万円の売り上げが必要で、本年度の売上目標は、2億円を目標にしている。

**質問** 今後、どのような戦略で利益の向上を考えているのか？

**答弁** 温泉について、イベント開催、宿泊について、団体営業に力を入れる。バーベキュー・ビアガーデンプランも実施する。宴会について、PR、キャンペーン、バイキング等を実施。

温泉、食事、接客の三拍子が揃っていくことが利益向上につながっていく。

**質問** 今後の施設の工事の計画は？

**答弁** 温泉の漏水があり、状況調査を進めていき、大規模な配管工事になる可能性もある。

**質問** 村内における業務請負委託の内容について（業種・人材派遣も含め）

**答弁** 業務請負では、学校給食調理業務・スクールバス運行管理・学校施設等営繕管理・道路維持管理・公用車運行管理業務で、人材派遣が、ケーブルテレビ放送番組制作業務である。

**質問** この業者を決めるのは、毎年入札で決定されるのか？

**答弁** ケーブルテレビ放送番組制作、本年度から新たな業務の学校施設等営繕管理は随意契約で、他の業務については、見積り合わせ、入札

の形で契約。スクールバス・公用車運転管理は、つばめタクシー(株)、その他は、大新東(株)締結している。  
**質問** 業務委託をされた理由について？

**答弁** 給食調理員の取り扱いが、教育委員会・社会福祉協議会・温泉センターと所属部署が変わり、安定した雇用形態を考え、委託による業務になった。

**質問** 発注者から委託業者への指導・要望はないのか？(給与・残業等)

**答弁** 確認、調査させて頂き、有利になるように考えていきたい。

**要望** 委託業者にお任せではなく、いろんな面で指導していくことが発注者の立場だと思います。

**質問** 認知症対策について？

**答弁** 正しい情報提供や啓発については、認知症サポーター養成講座を定期的に実施している。予防については、人と接して刺激ある日々を送ることが大切である。早期診断、その対応における課題について、早期の発見、受診、治療が重要であり、家族及び周囲の方の理解が必要で、地域での受け入れが重要である。患者や家族への支援について、認知症の方、家族の方のリフレッシェ事業もあり、月に1回認知症疾患医療センターによる相談日や設けている。また、人吉・球磨地域徘徊SOS事業があり、事前に登録すると皆で手助けできる制度がある。今後、認知症の方が多くなると予想されるので本村にもグループホーム等の整備も検討していくべきだと思います。



横谷 巡 議員

・地域公共交通について  
 ・(株)やまへの経営状況について  
 ・学校給食費無料化について

**質問** 公共交通の見直しするうえで、最も重要視する点は何か？

**答弁** 重要であり、人吉球磨公共交通網形成計画との整合性や利用者等のアンケートにより見直しを進めたい。

**質問** 今後の高齢化、交通弱者の推移状況と山間部利用者の利便性を高める配慮はしているか？

**答弁** 高齢化率は、平成18年の26.6%から平成27年は30.3%と山間部ほど高くなってきている。社会情勢の変化に対応しながら利便性を高めていきたい。

**質問** 今の公共交通の委託契約先はどこか？

**答弁** 人吉タクシー株式会社である。

**質問** 村長にお聞きしたい？人吉タクシーが多額の負債により倒産、2月16日に熊本地裁に民事再生の適用申請をしていることをいつ知られたか？

**答弁** 人吉新聞に出る前日に民事再生で肥後タクシーがオーナーとして付いたとの報告があった。

**質問** 温泉センターに半年間で村から投資された財源は総額でいくらか？また、項目別内容と金額は？

**答弁** 管理委託料2160万円、工事請負費3949万円、修繕費259万円で総額6368万円である。

**質問** 未収金などを管理委託料で解消されたが決算は赤字であった。この状況で従業員の給与を上げられておられるが、今後厳しい経営

が予想される。今後民間活力や民間移譲の考えはないか？

**答弁** 今の施設を次代へ引き継ぐことが責務だと思っている。ある時期にきたらいろんな民間の活力を活用することも考えたい。

**質問** 給食無料化を若者の定住促進、人口増加策にどのように繋げていくのか？

**答弁** 子育て支援の充実と若者世代の仕事場づくりの創出だと考える。

**質問** 自主財源の1割である1800万円は小さい額ではない。無料化が当り前になって風化しないように保護者、子どもたちへの理解と周知は？

**答弁** 教科書には無償であることの意義が書いてあります。給食費無料化については家庭から無料申請をしていただき、なぜ無料になっているのかを理解してもらい、併せて食育の大切さを指導していきたい。

**要望** 給食費無料化は村民全体の支えであることを認識し、保護者の経済的負担の軽減がかりでなく、納税の大切さや心を育む「食育・道徳の推進」に力を注いでいただき、本村の教育環境がより一層充実することを望みます。



## ・山江村農業委員会の活動について ・村長の施政方針について

松本佳久 議員

**質問** 農業委員会とはどのような活動をしているのか？

**答弁** 農業委員会の法律に基づき、農業生産力の発展、農業経営の合理化、農業者の地位の向上等に寄与する行政委員会であり、農地法に定められた業務の執行や、農業の利益代表機関として農業者の意見・要望を行政に反映させる活動をしています。

**提案** 農作業料金、作業賃金は農業機械の償却費や燃料費等も考慮して適正に決定されるよう要望します。

**質問** 遊休農地解消対策についてはどのような活動を行っているか？

**答弁** 玉ねぎ、ジャガイモを栽培し小中学校へ配布しています。

**提案** 学校給食用の玉ねぎ、ジャガイモは、物産館ゆっきりの出荷協議会会員も栽培されているので競合しないように要望します。

**質問** 地方創生には、どのように取り組むのか？

**答弁** 村政座談会や村民1000人アンケート等で村民の意見をお聞きし、大胆な地方創生総合戦略を策定します。

働く場を確保して村民が住み良いと実感する村を作り、子育て支援、医療支援、便利な公共交通、公園の整備、住環境の整備等を進め、村民所得の増大の為に企業誘致や農林業の企業化にも取り組みます。

**質問** 人吉球磨地域が日本遺産に認定されたが、山江村での活用策は？

**答弁** 日本遺産認定を山江村の活性化に結び付けるように取り組みます。文化史跡調査のための専門的学芸員を雇用し調査・研究をします。村内の文化財を調査して、保存維持活用に取り組みます。

**提案** 万江白岳神社の保存維持は、各課で更に研究されるよう要望します。

**質問** 村有地の活用についてはどう

のように考えているのか？

**答弁** 村有林は計画的に整備を進めています。

**質問** 山田立山の村有地にはメガソーラー発電所建設計画があり、



## ・(株)やまへのリニューアル後の 運営状況について

秋丸光明 議員

**質問** 米をはじめとする納入品の未払いがあったと聞いているが、どうなっているのか？

**答弁** 山江村から2160万円の委託料を支払っております。納入業者、出荷者に対する支払いの滞りはございません。

**質問** 11月の一時休館の時、納入業者が多く押しかけたと聞いているが？

**答弁** 債権者を集めて説明会を開催し、支払いの時期等を明示、資金計画等を説明したため。

**質問** 平成23年3月の定例会の議案審議のおり、当時の支配人から21年度までの利益報告があり、その後、経営は悪化したのはなぜか？

**答弁** 燃料の高騰、特に施設の老

サービスイリア南側は企業から払い下げ要望が出ています。

**答弁** 村内の小規模な村有地は調査中で、調査後に有効活用、貸付、売却を検討します。

朽化、熱交換機が機能していない。加えて濾過装置も使えないような状態であった。源泉から400mあたりで水漏れがあり温度が下がり燃料費が経営を圧迫した。

**質問** 水が混入していて泉質も落ちていると思われるが？

**答弁** 源泉を新しく求めたほうが将来安定した経営につながる。泉質の悪化も水漏れの要因もあろうかと考えます。

**質問** ほたるに交付金で囲炉裏を設置したが、その後、なくなっているが？

**答弁** 平成20年度に地域活性化経済緊急対策臨時交付金事業で取り組んでいます。撤去されていて現在調査中です。



# 一般質問



・今後の子育て支援はどうするのか？

中 竹 耕 一 郎 議員

**質問** 子育て環境として、最良であるべき姿、その認識は？

**答弁** 基本的には地方創生として、人口減少に歯止めをかける目的がある。結婚、出産、育児と一環して希望が持てる子育て環境を整備する事が重要である。各ステージに合った子育て支援策、施設が整備されていることが理想の姿であると考えている。

**質問** 今後、高度経済成長がもたらした格差社会のひずみの中で経済的に支援が必要な子どもたちが近々増えてくるのではないかと。次代を背負う子どもに影響があつてはいけない。

どのように対処するのか？

**答弁** 現在、医療費、保育料減免措置、就学祝金、給食費等さまざまな支援を講じている。補助事業で中学校無料学習塾を検討している。

**質問** 現在活用されている支援事業で使い勝手の複雑な医療費制度があるが改善されないか？

**答弁** 認定こども園に通う子どもの給食費はどうするのか？

**答弁** 他の町村とも検討したい。

**質問** 昨今、各家庭は多忙を極める。各種申請の利便を図る為、子育てに限らず、より利用しやすい総合窓口の設置はできないか？

**答弁** 職員の配置等もあり今後検討する。

**質問** 今後の少子化対策、子育て支援策の財源として定住化促進基金の運用が有効では？

**答弁** 定住自立圏構想を視野に入れて知恵を絞っていく。

**要望** しっかりした財源を基に、切れ目ない支援の中でも気配りされた、手厚い子育て支援を積極的に行い、誇りを持ってくらせる環境整備を期待する。

毎年6月と9月に議会議員と村執行部で実施している高速道路法面の草刈り、剪定作業を、6月議会定例会閉会後に今年も行った。場所は村章の形にツツジが植栽されている山田白鳥地区の高速道路上下線の法面の一部。

もともと、きれいな風景を住民や地域の活力へつなげたいと、議員の中から生まれた奉仕活動で、今回は、議会改選後の初めての作業に汗を流した。



(作業後)



(作業前)

# 万江川流域を現地調査!

5月21日、午前9時より万江川の土砂の堆積状況や堤防の整備状況等の現地調査を緒方県議会議員と山江村議会との合同で行った。当日は、万江地区の区長を始め、球磨地域振興局土木部、役場建設課も同行し、下の段橋から上流の吐合橋までの13ヶ所の現地視察を行い、危険箇所の対応や今後の防災対策等、計画や要望についても意見交換を行った。



## 議会事務局からのお知らせ

### 請願と陳情について

議会では、住民の皆様からの請願や陳情につきまして、以下のとおり常時受け付けております。

#### ○ 請願

住民の希望や意見を直接村政に反映させるための手段としてだれでも議会に対し請願する請願権を憲法第16条により保障されています。

議会に請願を提出する場合は、地方自治法124条により、必ず1人以上の議員の紹介がなければなりません。紹介議員となる議員は、請願内容に同意した上で請願書に、記名押印することになります。

#### ○ 陳情

陳情は請願と違い、紹介議員は必要としません。取り扱いは、議会運営委員会で協議し、特に意見がない場合、本会議での審議となります。この場合特に申し出が無い場合、陳情者への報告等はありません。

議会事務局へのお問い合わせ  
電話 23-3401  
(域内無料電話共通)

## だんだんあ

暑中お見舞い申し上げます。  
さて、今年の梅雨期も大きな災害が発生せずに良かったのですが、果樹・野菜等では、長雨により収穫量に影響を与えそうです。  
いよいよ、暑い夏がやってまいりました。夏と言えば、全国に自慢できる万江川を想い浮かべます。こどもの頃、真っ黒に日焼けする程泳いだことを。あの頃は、深い淵があり、魚もたくさんいました。  
しかし、現在の万江川は、どうでしょうか、深い淵にも土砂が溜まり魚が住む場所もなく、泳ぐ場所もない状態である。  
その原因は、山が荒れて手入れをしていないのが考えられる。  
間伐をしないで、日光が入らず下草が生えなく土壌が剥き出しになり土壌の流出、土砂崩れとなり、川へ、増え続ける鹿が下草を食べることも原因のひとつでもある。  
先般、県土木部との万江川視察(記事記載)で河川掘削しても増水したら、また、土砂が溜まり山の状態が健全でなく土壌保全が重要課題だと思えます。  
さらに、追及していくと日本の山が荒れた原因は、安い外材が輸入され日本材が使用されなくなったことによつて現在の山になつていったと思う。  
昭和30年代から、始まつた植林も約40〜50年たち、伐採時期を迎えているこのまま、日本の山は滅びて行くのか不安であり、昔の万江川を呼び戻すことは、さらにたいへん厳しい状況であると感じられます。  
未熟な点が多いと思いますが、4年間よろしく願います。  
(文責 立道 徹)

【議会広報委員】 委員長/立道 徹 副委員長/森田 俊介 委員/西 孝恒・赤坂 修